

次世代無線通信技術に関する新しい取組体制について

現在、IMT-2000（第3世代移動通信システム）の高度化とその後継システム（第4世代移動通信システム）に関する国際標準化の取組が国際電気通信連合（ITU）等において進展しており、2007年に開催される世界無線通信会議(WRC-07)における当該システムの周波数の審議に向け、活発な議論が行われています。2005年11月のITU-R SG8 会合において、IMT-2000の後継システムの名称を「IMT-Advanced」とする決議案が採択されたところです。

また、国内外において、WiMAX等のブロードバンドワイヤレスアクセス（BWA）システムに対する取組が活発化するとともに、総務省の「ワイヤレスブロードバンド推進研究会」の報告（2005年12月）の中で、「民間標準化団体等において、標準化や実用化に向けた組織的な取組の進展を期待」と提言されております。

このような状況を踏まえ、社団法人電波産業会（ARIB：会長 金杉明信）は、今般、既設の「IMT-2000 研究委員会」を全面改組し、IMT-Advanced、BWA等の次世代無線通信技術に関する調査研究、標準化、他の標準化機関との連携等を専門的に扱う組織として、また、当会の会員のみならず、会員以外の企業等も参加可能な組織として、「高度無線通信研究委員会」（詳細別紙）を設置することといたしました。

平成18年2月23日（木）に開催された当会の第21回通常総会において、本研究委員会の設置が正式に決定されましたので、お知らせいたします。

（参考）

社団法人電波産業会（ARIB）は、通信・放送分野における新たな電波利用システムの研究開発や技術基準の国際統一化等を推進するとともに、国際化の進展や通信と放送の融合化、電波を用いたビジネスの振興等に迅速かつ的確に対応できる体制の確立が必要であるとの趣旨に基づき、平成7年に郵政大臣の許可を受けて設立された公益法人です。

昨今は、第3世代移動通信システム（IMT-2000）、第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）、無線LAN、無線タグ（RFID）、高度道路交通情報システム（ITS）、衛星デジタル放送システム、地上デジタル放送システムをはじめ、数々の電波利用システムに関する調査研究、標準化等を行っています。

連絡先 〒100-0013

東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル

社団法人電波産業会研究開発本部 白石、田中、谷部

TEL 03-5510-8594

FAX 03-3592-1103

高度無線通信研究委員会の概要

1 任務

本研究委員会は、国内外の関係機関と連携を図りつつ、高度な無線通信システムに関する技術的検討を行うとともに、その国際的な標準化活動に寄与する。

2 設置日

平成18年4月1日

3 部会等の設置

研究委員会には、IMT-2000に関する技術的検討と標準化の推進、IMT-2000の後継システムに関する技術検討と標準化の推進及びブロードバンドワイヤレスアクセスに関する技術検討と標準化の推進について検討を行うため、それぞれ次の部会を設置する。

(1) IMT-2000部会

(2) IMT-Advanced部会

(3) BWA部会

なお、研究委員会は、任務遂行上必要があるときは、これらの部会に加え、必要な部会又はこれに準ずる組織を設置することができる。

